



# 碧南ロータリークラブ週報

第2605回例会 平成24年8月22日

- 会長 黒田 昌司
- 幹事 木村 徳雄
- 会場監督(SAA) 新美 雅浩

2012-2013 年度 国際ロータリーのテーマ

■例会日 毎週水曜日 12:30 ■例会場 碧南商工会議所ホール  
 ■事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90  
 TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100  
 ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>  
 E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)

■会報委員 菅原優・鈴木泰博・服部弘史・大竹密貴



## ● 斉 唱

ロータリーソング「我らの生業」

## ● 本日のメニュー

季節のお弁当 とんがり帽子

## ● 本日のお客様

地区会員増強リーダー 伊藤秀雄様 (名古屋東南RC)

## 記念アルバム贈呈

記念アルバム…石川直前会長

## 会 長 挨 拶

立秋もお盆も過ぎてまだまだ暑い日が続いています。私たちは小さい頃、クーラーもなくどうやって涼んでいたのかと考えてみますと、夏はやっぱり怪談話でございます。その怪談を紹介してみたいと思います。

番町皿屋敷というお話ですが、ご承知のように、お菊さんという女中さんが10枚組の皿の1枚を割りました。そしてそこのお殿様に手打ちになって死んでしまいます。それで夜な夜なお菊さんの幽霊が出て参りまして「1枚、2枚…9枚」と皿を数えるわけです。

この皿屋敷のお話は日本全国多くの町にあるわけです。一番有名なのが番町皿屋敷、それから播州皿屋敷、金沢皿屋敷、出雲皿屋敷と、なぜこんなに全国に広がっているのでしょうか？これを研究した人がいまして、その結果としていろんな都市に共通しているのが、お殿様がキリスト教に寛容だったということです。皿屋敷はお皿を割ったという話なのですが、最初はキリストの禁令で家を更地にされてしまう、更地のサラがサラ屋敷というのが元のとっかかりだったのです。

今いじめの問題が起きているのですが、怪談話というのは何かやった人に祟り・呪いが出る



伊藤秀雄様



石川直前会長



黒田昌司会長

ということで、怪談話をテレビなどでやるといじめがなくなるのではないかと、いじめると自分に何かがふりかかるというような教育をもっとやった方がいいのではないかと考えております。

本日は伊藤先生に来ていただいたわけですが、去年も8月にお越しいただきました。そして今回で3回目ということで、会員増強の元気印の1番の方でございます。碧南も本年度純増3名で進んでおりますので先生の話のいろいろ参考にさせていただきながら、会員増強を図っていきたいと思います。

## 幹 事 報 告

- ・ 幹事報告書の通りです。
- ・ 第2回の理事会報告の中で被災高校生支援事業の募金についてのことですが、ガバナー公式訪問のときにまたガバナーの方が言われると思うのですが、そのあとに詳しくお願いをさせていただきます。
- ・ 来週ガバナー補佐訪問がございます。欠席のないように宜しくお願いします。
- ・ クラブ協議会も例会後にさせていただきますので基本資料をお忘れなく各委員長さんへご出席をお願いします。もし、委員長さんの都合が悪ければ副委員長さんで代理の方宜しくお願いします。
- ・ 9月12日ガバナー公式訪問がございます。ぜひ全員出席のほどを宜しくお願いします。
- ・ 9月19日にインフォーマルミーティングを当会議所で夜間例会させていただきます。楽しい例会をしたいと思います。



木村徳雄幹事

## 委 員 会 報 告

### <出席奨励委員会>

総会員数 69 名 (内出席免除者 13 名の内出席者 11 名)出席者 57 名	
出席対象者 57/66 名	出席率 86.36%
欠席者 12 名(病欠者 1 名)	前々回修正出席率 100%

※三週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

### <ニコボックス委員会>

- 山中 寛三君 皆出席賞、有難うございました。
- 新美 孝君 石川春久君に大変お世話になりました。感謝致します。
- 森田 英治君 8月20日には石川春久会員に大変お世話になりました。
- 加藤 良邦君 平成24年盆行事、99%終わりました。皆様に大変お世話になりました。有難うございました。
- 本日、知立クラブ訪問にて欠席を致します。尚、来週は碧南クラブ訪問となります。いじめないで下さい。
- 石川 春久君 新美 孝さん、森田英治さん両先輩に大変お世話になりました。

妙福寺さんにお世話になり大変ありがとうございました。

長田銑司さんご無理をお願いしました。皆様喜んでお帰りになりました。

新美宗和さん、山内恵介キャンペーンコンサート、大成功おめでとうございます。

**長田 豊治君** 今週の土曜日8月25日に、藤井達吉翁の追弔会 鶏頭忌を妙福寺さまで開催いたします。皆様のご支援のおかげと感謝いたします。

**木村 徳雄君** 幹事職2ヶ月目ですが、どうも皆さんに迷惑をかけそうな気がします。色々と皆さんご指導をお願いします。

**伊藤 正幸君** 地区会員増強リーダー伊藤秀雄様をご紹介します。

**奥田 雪雄君** 8月20日、石川春久さんには大変お世話になりました。百合音が楽しかったと言っておりました。

**榎原 健君** 8月18・19日2日間に渡り、宮城県の塩釜F・Cを迎えて碧南サマーカップを盛会のうちに終える事が出来ました。石川体協会長には大変お世話になりました。ありがとうございます。

## 卓 話

「会員増強について」地区会員増強リーダー 伊藤秀雄様  
会員増強の話をして2年連続やれと言われても、これほど難しいことはありません。また聞く方ももう答えはわかっているので、今日はお話で時間を費やしたいと思います。



伊藤秀雄様

まず、会員増強するよりも減らさないようにした方がいいわけです。京都のロータリアンの方が「さくらクリニック博多」というのがあって、ここへ行くとなんでも良くなるというのです。私もそこへ行って見たのですが、そこは人間の血管年齢を若返らせるお医者さんでした。私も血を抜いてもらって検査しました。それから点滴で30分血管の掃除をしてもらいました。すると途端に腰痛が治りました。卓話に来てこの話をするのは初めてです。なぜかというとなら関係ないからです。ただ、ロータリアンに長生きしてもらって、会員が減らないためのお話で、これも会員増強だと思って聞いてください。

また、提案として、デスクを1月生まれ、2月生まれと月別に固めてしまって、来年の3月生まれの人は3月生まれの人だけで集まっている会で3月に1人入れなさい、とするわけです。そうすれば12人増える計算になります。僕はそういうやり方もいいと思います。

80人の会員を3年間で160人にすると頑張っているクラブもありますが、僕はそこまで頑張る必要があるのかと思います。自分のクラブは増やさないといけないのか、このままでいいのかというのはこのクラブの人が一番よく知っていると思います。ここは人口7万人くらいらしいのですが、1万人で10人と言っていますから7万人だと70人いれば、そのクラブはよく頑張っているということになります。碧南の名門クラブはよく頑張ってもらっているので、わざわざ増員することはないと思います。入れるのも、1回だけ呼んでロータリーに入れるより、3回くらい呼ぶと、いいロータリアンとして育てていくと思います。来た途端に何をしたらいいかわからないようではいけません。やっぱり最初の1年が大事ですね。

こないだ新聞にいい言葉が書いてあったので読んでみたいと思います。「諦めたらそこで終わりだ。もう限界と思うその一歩先に踏み出してみろ。」「苦しい顔はしてもいいけど、嫌な顔はするな。」「負けは負けだ。もう後ろは振り向くな。」「勝負どころで臆病が出たら何もできないぞ。」「気づいていないだけだ。君の実力はそんなもんじゃない。」

事業にしてもロータリーにしてもそうですが、会員増強よりも、何か1番のものがないと楽しくないと思います。私のクラブは22の同好会があります。今度作ることになったのは、全国うまいものお取り寄せの会というのです。入口で見本を食べてもらって、美味しいなと思ったら名前を書いてもらって人数をまとめて注文して取り寄せるのです。こういうやり方をすると、例会に来るのが楽しくなってきます。

会員増強委員長の下、会長、幹事、エレクト、副会長、会員増強委員長のこの5人は今期中に必ず1人は入れるくらいのつもりでやってもらわないといけませんし、ひとつ頑張ってやって頂きたいと思います。今日は本当にありがとうございました。

次回例会案内 平成24年9月5日(水)

クラブフォーラム「青少年活動の助成金贈呈」

碧南市スポーツ少年団 副本部長 岡田一穂氏

碧南市スカウト育成連絡協議会

ボーイスカウト碧南1団カブスカウト隊 隊長 杉浦辰彦氏